

輝く

地域のエネルギーを活用し、安定かつ持続可能なエネルギー社会の構築に貢献



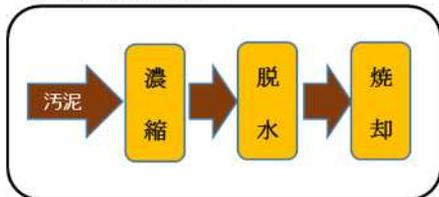
下水熱がミニトマトの栽培に活かされています

豊川浄化センター

矢作川流域・豊川流域下水道事業

- 「愛知産資源」の創出！県内2流域下水道にて、下水汚泥のメタン発酵により発生するガスを利用し、バイオマスエネルギーを利活用！
- 矢作川浄化センターでは、汚泥焼却炉の燃料として使用！
- 豊川浄化センターでは、年間1,210世帯分相当の電力を発電！

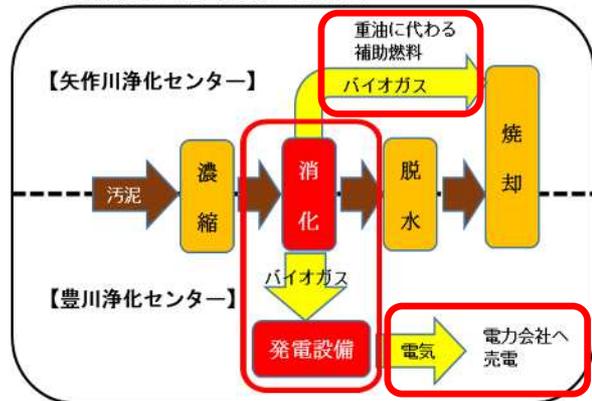
従来汚泥処理工程



脱水ケーキ

バイオガスの創出量 0

汚泥処理工程（消化工程追加）



矢作川浄化センター

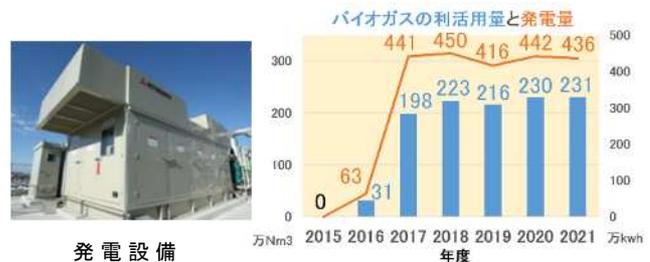
■ 年間129万Nm³のバイオガスを利用し、約700klの重油使用量（年間使用量の約35%）の低減を実現！



消化施設

豊川浄化センター

■ 年間231万Nm³のバイオガスを活用し、436万kwh（一般家庭の約1,210世帯相当分）の電力の発電を実現！



発電設備